

木材利用システム学寄付研究部門 平成30年度成果報告会

木材利用システム学寄付研究部門は、農林中央金庫の寄付によって、2016年10月に東京大学アジア生物資源環境研究センターに設置され、本年10月から第2期を開始いたしました。当研究部門は、木材の加工・流通・利用の環境評価、経済評価、社会影響評価、マーケティング、政策等に関する研究を行い、新たな研究領域として木材利用システム学の確立を目指しています。また、産官学の連携を推進するための活動を行っています。これまでの3年間の成果と最近1年間の研究活動内容を報告し、皆さまからご意見、ご指導を賜るため、下記の通り、成果報告会を計画致しましたので、案内申し上げます。

～ 記 ～

- 日時： 2019年10月30日（水）：13時00分～15時30分
- 主催： 東京大学アジア生物資源環境研究センター木材利用システム学寄付研究部門
- 後援： 木材利用システム研究会
- 会場： 東京大学農学部 フードサイエンス棟 中島董一郎記念ホール
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html
- 申込： 参加費は無料ですが、事前にメール(info@woodforum.jp)で所属と氏名をお知らせ下さい。

～ プログラム（予定）～

- ご挨拶 アジア生物資源環境研究センター長 高野哲夫
- 木材利用システム学寄付研究部門における研究および活動プログラムの成果 教授 井上雅文
- 研究プログラム① 木材利用の環境・経済・社会影響評価（長坂健司）
 - ・ 中高層木質構造のLCCO2評価 特任研究員 今村航平
 - ・ 木質ボードの生産および利用における環境経済評価 共同研究員 後藤裕次郎
 - ・ 木材輸出拡大による地域経済波及効果 特任助教 長坂健司
- 研究プログラム② 木材および木材製品のマーケティング（幡 建樹）
 - ・ 中国とベトナムにおける木材市場の動向 共同研究員 安藤範親
 - ・ 新築非住宅建築物の木造率に関する一考察 研究協力者 多田忠義
 - ・ 木材流通における情報の統一コード 特任研究員 幡 建樹
- 研究プログラム③ 木材利用促進に関する政策、人材、消費者理解等（今村航平）
 - ・ 木力検定のアンケート調査結果に基づく問題の難易度の検討 共同研究員 東原貴志
 - ・ 生理指標を用いた木質環境の快適性評価 研究協力者 恒次祐子
 - ・ SDGs時代の木材産業 特任助教 長坂健司
- 閉会 特任教授 永田 信

★プログラムの最新情報などは、研究室HP (<http://smd.anesc.u-tokyo.ac.jp/>) にて御確認下さい。

お問い合わせ：

担当：長坂健司 (nagasaka@anesc.u-tokyo.ac.jp)

幡 建樹 (hata@anesc.u-tokyo.ac.jp)

東京大学アジア生物資源環境研究センター

木材利用システム学寄付研究部門

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1, 7号館B棟-438

Tel: 03-5841-7506 Fax: 03-5841-0915

